

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

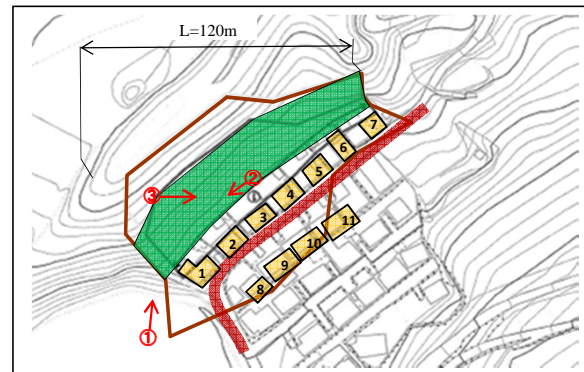
事業名	急傾斜地崩壊対策等		路河川名等	(急)道祖神						
事業毎の通番	4	市町村名	長野市	箇所名(ふりがな)	竹房(たけふさ)					
事業概要	事業目的	当箇所は長野市信州新町中心部より東約1kmの犀川右岸に位置し、最大高さ24m、勾配30°の急斜面であり、保全対象として人家11戸、市道等が存在する。地形は急峻で脆弱な地質であり風化による侵食も進んでいることから、斜面崩壊による人的被害の危険性が高い。このため早急に対策を講じ民生の安定を図るものである。								
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1 地域防災力の向上(災害に強い地域づくり)	事業実施の根拠法令等	急傾斜地法						
	関連する事業、計画等									
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	保全対象: 人家11戸、市道								
	着手年度	平成29年度	事業期間	4年間						
	完成年度(見込み)	平成32年度	費用対効果	3.4						
	全体事業内容(主な工種)	法面工 L=120m	事業費(千円)	国庫	67,500	15,000	県債	60,750	一般財源	6,750
年度事業内容(主な工種)	・地形測量 1式 ・地質調査 1式 ・詳細設計 1式	15,000	6,750	1,500	6,075	675				
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	急傾斜施設整備による土砂災害特別警戒区域指定の解除								
	間接的効果(定量的・定性的)									
評価の視点	必要性	○人家戸数: 11戸 ○公共施設数: 1施設 ○要配慮者利用施設の有無: 無 ○避難場所、避難路の有無: 無							評価	B
	重要性	○過去の災害履歴: 無 ○交通遮断による地域経済への影響: 中 ○地域防災計画上の位置づけ: 有							評価	B
	効率性	○費用便益比(B/C): 3.42 ○事業期間: 4年間(H29~H32) ○工法等の比較検討: 無							評価	A
	緊急性	○斜面高さ: 平均高さ17m Hmax24m ○植生: 普通 ○斜面平均勾配: 30° ○地質: 崩積土 ○オーバーハング、遷急線、谷地形、凸地形: 無							評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有: 関係者以外にも周知 ○地域の取り組み: 協力的である ○地域の合意形成: 事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働: 住民関与が低い事業							評価	A
	部意見	保全対象に人家11戸、市道等がある。斜面は風化による侵食が進んでおり地元要望も強く、早期に対策を行う必要がある。	行政改革課意見	平均高さ17mの急斜面が風化等により不安定な状況で、斜面が崩壊した場合の保全対象に人家、市道があることから、必要性は認められる。	評価結果	○	総合評価	B		

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

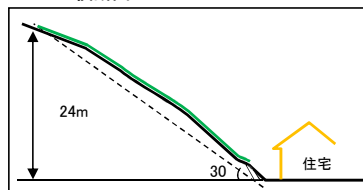
位置図



平面図



横断面



【整備の必要性がわかる状況写真等】



①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	犀川右岸に位置し、最大高さ24m、勾配30°の急斜面であり、保全対象として人家11戸、市道等が存在し一部が土砂災害防止法の特別警戒区域に入っている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	例年長野市より要望があげられている。
③事業説明等の経緯	平成22年3月土砂法説明会開催
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	詳細設計時に配慮について検討の予定。
⑥地域活性化への影響と配慮	急傾斜地崩壊対策施設の設置による特別警戒区域の解除により、付近の土地利用の活性化が期待される。
⑦その他	急傾斜指定地申請予定
事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 56' 5864" 東経:E 138° 02' 0452"